

「石綿読影の精度に係る調査」に関する要望について

1 要望実施日

令和4年3月23日

2 要望参加自治体

堺市 大阪市 鳥栖市 神戸市 西宮市 尼崎市

3 要望項目

(1) 調査参加対象者について

現在の肺がん検診などの既存検診において、胸膜プラークなどの石綿関連所見ありと判定された場合には、その結果が過剰診断であるか否かを検証するため「石綿読影の精度に係る調査」の対象として情報収集を行い、その対価として精密検査費用の公費負担を行う制度に改正されたい。

(2) 胸部CT検査対象者について①

石綿ばく露リスクがあり、過去のCT検査により胸膜プラークなどの石綿関連所見のある方については、中皮腫のリスクも高いことから胸部CT検査による検証を行うことで、石綿読影の精度向上に向けた知見の収集を行う制度に改正されたい。

(3) 胸部CT検査対象者について②

初めて受診された方で、石綿ばく露歴をお持ちの方については、石綿ばく露リスクと石綿関連所見との関係を把握する必要性から、初回に限って胸部CT検査を可能とされたい。

(4) 二次読影結果のフィードバックについて

二次読影結果の内容については、一次読影の読影精度向上につながるよう、所見を認めた肺の区域など、具体的な情報、詳細な内容を提供して頂きたい。

(5) 読影医のスキルアップについて

今後、一次読影を行う医師の確保及び資質向上のため、オンラインの手法を活用した研修体制や、二次読影医師との意見交換など、医師のスキルアップにかかる取組の充実を図られたい。

(6) 二次読影期間の短縮について

一次読影結果の送付から二次読影結果の返送に要する期間について、参加希望者の受診機会の確保の観点から出来る限り短縮できるよう工夫して頂きたい。